

震度7を体験

阿倍野防災センターを見学



被災した町を再現した展示を前に説明を受ける

大阪府中小企業組合士協会では、さる平成24年3月9日（金）、大阪市阿倍野区にある大阪市立阿倍野防災センターにて見学会を実施しました。

センターの係員の誘導により、体験コースのプログラムに沿って、順番に施設内を見学しました。

バーチャル地震コーナーでは、大阪市内で直下型の巨大地震が発生したという想定で、地震の揺れを体験しました。火災発生防止コーナーでは、バーチャル住宅の中で、地震発生後に火災発生などの2次災害を防止するため、ガスコンロやガスの元栓、電源ブレーカーなど火の元を閉じる体験をしました。煙中コーナーでは、火災が発生したときの煙の中を再現した部屋で、視界の悪い中、煙害を防ぎながら避難する体験をしました。

初期消火コーナーでは、台所のガスコンロが燃えているという想定で、消火器を実際を使って初期消火を行う体験をしました。119通報コーナーでは、「けが人が目の前にいる」・「近所が火事だ」の2つの想定で携帯電話や公衆電話から119番通報する体験をし、その手順や文言を確認しました。

応急救護コーナーでは、けが人に対する応急救護をネクタイ、ハンカチ、手ぬぐい、ナイロン袋等、身の回りにあるものを使って行う体験をしました。

最後に、震度7地震体験コーナーで地震波の揺れを再現する装置の上に乗って、昨年発生した東日本大震災をもたらした「東北地方太平洋沖地震 M9.0」の震度7の揺れと、近々起こるといわれている南海東南海地震 M8.4の震度6強の揺れを体験しました。

施設見学の後、センター担当者と質疑応答を行い、活発に議論がなされました。東日本大震災から1年、改めて地震の恐ろしさを再認識するとともに、組合事務局でも、常日頃から防災意識を持ち、イザというときのための備えが重要だということを確認しました。



消火器による初期消火を体験